



2020年5月13日

各位

会社名 株式会社アカツキ
代表者名 代表取締役社長 塩田 元規
(コード番号 3932 東証第一部)
問合せ先 CFO 米島 慶一
(TEL 03-5422-7757)

2020年3月期連結業績の前年同期実績との差異 及び個別決算における営業外費用の計上に関するお知らせ

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の当社連結業績の前年同期実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、2020年3月期の個別決算におきまして、下記のとおり営業外費用が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期の連結業績と前年同期実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前年同期実績(A) (2019年3月期)	百万円 28,130	百万円 13,635	百万円 13,502	百万円 7,858	円 銭 567.67
今回発表業績(B) (2020年3月期)	32,048	11,053	10,779	6,620	476.29
増減額(B-A)	3,917	△2,581	△2,722	△1,238	△91.38
増減率(%)	13.9	△18.9	△20.2	△15.8	△16.1

2. 前期実績との差異理由

連結売上高につきましては、モバイルゲーム事業において、既存タイトルの堅実な運用と当期にリリースした新規タイトルが好調に推移した結果、複数タイトルによる安定した収益構造がより強固になったことにより、前期連結実績(2019年3月期)と比較して増収となりました。

また、連結営業利益及び連結経常利益につきましては、連結売上高の増収による影響があったものの、自社配信タイトルの増収による営業利益率の低下がある他、新規ゲーム開発の更なる強化及び新規領域での様々なチャレンジによる追加投資の影響を受けて、前期連結実績と比較して減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結営業利益及び連結経常利益の減益による影響の他、投資有価証券売却損益、投資有価証券評価損及び減損損失等があったため、前期連結実績と比較して減益となりました。

3. 個別決算における営業外費用の計上

当社グループの更なる成長のためには、限られた経営資源を最適化し、より効果的かつ効率的に事業を進める必要があります。そのため、通期業績を慎重に検討し、財務の健全性を確保する観点から、子会社への貸付金の回収可能価額を保守的に見込んだ結果、2020年3月期の単体決算において営業外費用（貸倒引当金繰入額）を1,663百万円計上することとなりました。

なお、当該営業外費用（貸倒引当金繰入額）は子会社への貸付金に対するものであるため、連結業績に与える影響は軽微となります。

以 上